

# 次代のリーダーとして



校長 曾根 伸之

本校は、高い志と豊かな人間性を携え、次代 (social O) のリーダーとして、自立し、「世のために尽くそう」とする生徒の育成に努めています。

細井平洲先生が揮毫された藩校興讓館『学則』の一節には、「温恭自ら虚うし受くる所これを極む」とあり、概ね「知識や先入観にとらわれず、心を真っ白にして徹底して学ぶ」との意味ですが、これは、現代の本校生が旨とする「探究的な学び」に向かう姿にも、相い通ずるものがあるようにも思えます。謙虚に、そして、果敢に挑戦を続ける本校生の志は、時空を超えて、綿々と受け継がれているといえるでしょう。

「探究的な学び」の原点は、生徒が授業や身近な経験の中で、自ら見出した課題について、自分の力で考え、主体的に、そして、仲間とともに、協働的に課題の解決に取り組みます。これ

は、学習はもちろん、高校生活の中で皆さんが取り組む生徒会活動や学校行事、部活動、ボランティア活動、地域貢献活動など、あらゆる場に通ずるはずで。

依然、新型コロナウイルス感染症拡大による世情不安や不安定な国際情勢など、現代社会は、必ずしも、安心できる要素ばかりではありません。しかし、そのような事態であればこそ、私たちは、衆知を集め、課題解決とより良い社会づくりに、日々取り組んでいます。現代は、科学技術の進歩や社会の変化が著しいことをもって、予測不可能な社会ともいわれますが、パラダイムシフトは、極めて身近な感覚で私たちの周囲に起こっており、オンラインの交流、更には、人工知能AIの活用なども生活に身近なテーマとして、日常的な視野に入ってきたように思います。まさに、social Oの到来は、日々実感に近づいています。私たちは、常に、未踏の領域に向けて、試行錯誤を繰り返しながらも、前進し続けているのです。

皆さんの若い感性と柔軟な発想力が、多様な学びと豊かな成長を実現し、やがて、生徒諸君が、それぞれの分野の担い手として成長していくてくれるよう、米沢興讓館高校は全力で一人ひとりを応援し続けます。



令和3年7月28日発行  
 第50号 山形県立  
 米沢興讓館高等学校  
 〒992-1443  
 山形県米沢市大字笹野1101  
 TEL 0238-38-4741  
 FAX 0238-38-2531  
<http://www.yonezawakojokan-h.ed.jp/>



## 興讓館での学び

一年二組 堤 惇

(米沢七中出身)

期待と不安の入り混じった思いで興讓館に入学した四月から、初めてのことがばかりの、充実した日々を過ごしてきました。ご指導にたくさんのお愛と情熱を注いでくださる先生方や、個性が強く、互いに高めあえる仲間と勉強する毎日、ますます楽しくなっています。新しい環境での部活動もやりがいのひとつです。加えて、興讓館は、SSHならではの探究活動などの幅広い学びの場が充実しています。そういった学びの場に積極的に参加して、自らの知見を広げていきたいです。

とはいえ、一番考えなければならぬのが進路についてです。私は興讓館に入学してから、自分の進路について、今までよりもさらに強く意識するようになりました。大学での学びと、大学卒業後のキャリアを見据え、自分にとってベストな大学を選び、合格を勝ち取りたいです。そのために、普段の授業で忙殺されることなく、より質の高い学習をしていきます。そして、仲間と互いに切磋琢磨しつつ、着々と入試への対策を積み重ねていきます。

自分が今、恵まれた環境で学べることを自覚するとともに、興讓館で学ぶ全体的なことを、これから生かせる大きな力としていきたいです。



# スーパーサイエンスハイスクール活動紹介

## 研究活動を通して得たもの

三年四組 見 保 駿 作

(米沢六中出身)

私たちコーサスーパーサイエンスクラブの三年生は、二年生になってから本校のSSH事業の一環であるイノベーター育成塾に参加し、塾長の城戸淳二教授による塾長ゼミでのプレゼンテーションや講義、山形大学工学部の研究室に所属してのハイレベルな研究活動に取り組み、その成果を英語で発表しました。自分自身で課題を見つけ、大学生にアドバイスをもらいつつ、諦めずに何度も試作して改良し、課題を解決することができました。また、物理・生物・情報等、興味を持っている分野にわかれ科学に関する大会に出場しました。この貴重な体験で「諦めない」という精神や、課題解決に向けて様々なアプローチをしていく姿勢が身に付きました。これらの経験を今後の研究活動に生かしていきたいです。



## オンライン交流での学び

三年二組 佐藤 結 宇

(米沢二中出身)

国際探究科二十六名で、マレーシアのセコラタウンファティマ高校とオンライン交流を行いました。私が一番印象に残ったことは、マレーシアの高校生とテーマを決めてプレゼンテーションを行ったことです。多様な観点から意見を出し合い、問題解決に向けて話し合えたことは、とても貴重な経験になりました。私はテーマに関する問題点を見つけるのにも苦労しました。しかし、ファティマの生徒は私が気づかなかった問題点を何個も見つけていました。私は、ファティマの生徒たちの問題意識の高さに驚き、刺激されました。



コロナ禍でオンラインでの交流でしたが、普段関われない生徒と話すことができ、多くのことを学ぶことができました。これからは、ファティマの生徒たちのように、より問題意識を持って生活していきたいです。



## 研究活動を通して得られたもの

三年一組 高 梨 美 佳

(高畠中出身)

探究活動成果発表会では最優秀賞という素晴らしい賞を頂きありがとうございました。

私たちは「μ粒子の寿命測定」というテーマで研究を行ってきました。内容が難しく考察が進まないことも度々ありミーティングが夜中まで続くなど苦労は多々ありました。そんな中、メンターの田中香津生さんや齋藤隆太さんに助言していただきながら仲間と議論するのはとても楽しかったです。また、物事を多面的に捉える力や論理的に考える力など身に付いたと思います。高校生のうちから密な研究活動を行うことができ大変よかったです。

私たちは全国大会への切符を手に入れています。これまでの研究をもとに、さらに内容の濃い発表ができるようにしたいです。そして今まで支えてくださった皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに精一杯頑張ります。



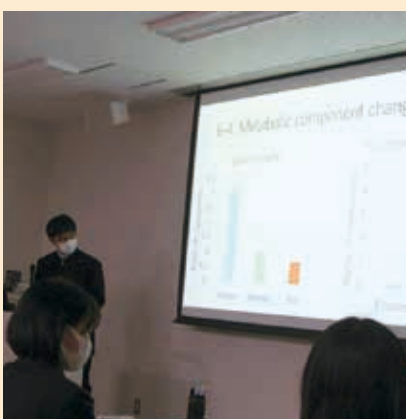
## 第四十五回全国高等学校総合文化祭 紀の国わかやま総文2022

### コーサスーパーサイエンスクラブ活動紹介

三年四組 綿 貫 滉 大

(米沢五中出身)

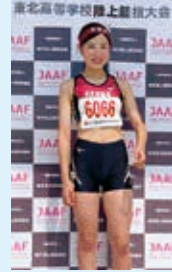
昨年度二学期から今まで、私たちコーサスーパーサイエンスクラブの三年生は、山形大学工学部の皆さんに協力していただき、部活の一環として大学の研究室で最先端の研究に触れさせていただきました。その中で、わたしは「メイラード反応」という日常とのかかわりも強いものを題材に研究をさせていただいてきました。研究を始めた最初のうちは何もわからない状態でしたが、活動を続けていくうちにもっと知りたいという思いが強くなっていき、山形県内での研究発表の結果、八月に和歌山県で行われる全国高総文祭で発表させていただけることになりました。今までの自分の研究成果を全国に発信できる大切な機会なので、相手に自分の考えが伝わるような分かりやすく自分らしい発表が出来るように、残り僅かな時間でも有効に使ってまいります。



# 部活動の活躍



これまでご指導くださった先生方、一番近くで支えてくれた家族、一緒に練習をしてきた仲間達には感謝の気持ちでいっぱいです。陸上を通してたくさんのことを得た私は乗り越えられないものは無いと信じて、これから進路実現に向かって頑張っていきます。



## 大好きな陸上から得たもの

三年一組 横山 文香  
(米沢三中出身)

私は岩手県で行われた東北高校総体に走高跳で出場してきました。

昨年は走高跳での東北大会を逃したため必ずリベンジすると決意し、地味できつい練習も一つ一つこなしてきました。それは今シーズンの跳躍に生きていくのがしつかり実感でき、跳んでいくことも楽しかったです。県大会では安定した跳躍で東北大会を決めることができ本当に嬉しかったです。一六〇cmを目標に臨んだ東北大会では記録を残せず悔しい結果となりましたが、陸上人生で一番ワクワクしてとにかく楽しい試合でした。

今年も福井県でインターハイが開催されます。フェンシング部に入学してからずっと憧れを抱き、目標としていたインターハイへの出場権を得ることができ、嬉しく思います。

私たちはこれまで、インターハイに向け

## 祝

フェンシング部  
インターハイ出場

## 夢の舞台

三年五組 和泉 希音  
(米沢二中出身)



てお互いに指摘し合い改善することや、自分の力で戦術を考えることを意識して練習に励んできました。

「コロナ禍でさまざまなことが制限されている中で私たちに練習の場を与えてくださったこと、切磋琢磨できる素晴らしいチームメイトに恵まれたこと、いつも応援してくれる人がいたこと、全てのこと本当に感謝しています。自分たちのベストを出し切り、恩返しができるように精一杯頑張ります。」

### インターハイ出場種目

- 男子
  - 個人フルール 峯田 大空 (三三三)
  - 学校対抗 和泉 希音 (三二五)
  - 個人エペ
- 女子
  - 個人フルール
  - 学校対抗
  - 個人エペ



### 令和三年度 置賜地区高等学校総合体育大会

- 陸上競技部
  - 男子五〇〇m 丸手 晴樹
  - 女子三〇〇〇m 船山 明莉
- 卓球部
  - 男子学校対抗 第二位・女子学校対抗 第二位
- 剣道部
  - 女子団体 第位
- 弓道部
  - 男子団体 第位
- 山岳部
  - 男子団体 第一位・女子団体 第一位
- バドミントン部
  - 男子ダブルス 第二位 小方 悠暉・山口 由悟
  - 女子団体 第一位
  - 女子ダブルス 第一位 原 環・佐藤 結宇
  - 女子シングルス 第一位 原 環
- フェンシング部
  - 男子個人フルール 第一位 峯田 大空
  - 男子個人エペ 第一位 峯田 大空
  - 女子学校対抗 第一位
  - 女子個人フルール 第一位 和泉 希音
  - 女子個人エペ 第一位 和泉 希音
  - 女子個人サーブル 第一位 大久保南美
  - 男子 第二位・女子 第一位
- ホッケー
  - 男子 第二位・女子 第一位

### 令和三年度 山形県高等学校総合体育大会

- 陸上競技部
  - 女子三〇〇m 第八位 船山 明莉
  - 女子走高跳 第四位 横山 文香
- 卓球部
  - 男子ダブルス ベスト8 佐原 羽春・丸手 健人
- 弓道部
  - 女子団体 第五位
  - 女子個人 第七位 鈴木 一加
- バドミントン
  - 女子団体 ベスト8
  - 女子シングルス 第一位 峯田 大空
  - 男子個人フルール 第一位 峯田 大空
- フェンシング
  - 男子個人フルール 第一位 和泉 希音
  - 男子個人エペ 第一位 和泉 希音
  - 女子学校対抗 第一位(インターハイ出場)
  - 女子個人エペ 第一位 和泉 希音
- 水泳部 (東北高校総体出場)
  - 男子五〇mフリー 第三位 船山 晃大
  - 男子一〇〇mフリー 第六位 船山 晃大
  - 女子高飛込 第一位 戸田萌々香
  - 女子三m飛板飛込 第一位 戸田萌々香
  - 女子八〇〇mフリー 第一位 尾形 綺音
  - 女子一〇〇mバタフライ 第一位 尾形 綺音
  - 女子二〇〇mバタフライ 第二位 佐原 陸希
  - 女子四〇〇mフリー 第三位 尾形 綺音

# 令和3年度 体育祭

## 責任者としての重圧の中で

三年一組 須貝 洸成  
(沖郷中出身)

今回の体育祭は、コロナ禍の中で例年とは違う競技で行いました。恒例競技の騎馬戦や綱引きの代替案として行った障害物リレーやクラス対抗リレーも、盛り上げることが出来て嬉しく思うのと同時にホッとしました。また、体育祭を通してクラスの団結も強くなったと思います。沢山の人から体育祭楽しかったーと声をかけてもらって、今までの準備の苦労が報われました。当日大きなトラブルも無く成功することが出来たのは、皆さんのおかげです。ありがとうございました！



## 雨にも負けず

三年四組 菅野 圭  
(米沢四中出身)

先日、雲ひとつない晴天のもとで体育祭が行われました。一人一人が全力で勝利を追い求め、お互いのプライドをぶつけ合う白熱した戦いを繰り広げました。その中で私たちのクラスが優勝できたのは本当に嬉しいです。私がいいた男子バレーは一年生に負け予選落ちしましたが、それだけ全員がひとつの競技に真剣に取り組んでいた証拠だと思います。これからも色々な行事などありますが、雨にも負けず風にも負けずコロナにも負けず頑張っていければと思います。

## ❖ 二学期の行事予定 ❖

- 8月19日 始業式・課題テスト
- 8月27日 興譲祭 (28日)
- 9月11日 地区高校新人大会 (12日)
- 9月19日 創立記念日・式典
- 9月27日 二学期中間評価 (29日)
- 9月30日 自治会役員選挙
- 10月5日 避難訓練②
- 10月8日 県高校総合文化祭村山大会 (10日)
- 10月9日 県高校新人大会(前期) (10日)
- 10月中旬 高鍋高校交流
- 10月20日 探究活動中間発表会
- 11月6日 県高校新人大会(後期) (7日)
- 11月24日 期末・学年末評価 (26日)
- 12月1日 1年F S つくば探究ツアー (2日)
- 12月1日 2年普通科キャリア研修 (3日)
- 12月18日 山形県探究型学習課題研究発表会
- 12月24日 終業式

## 一学期も熱く燃えよう